

2025(令和7)年7月29日 報道発表資料
[本リリース発信元]ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

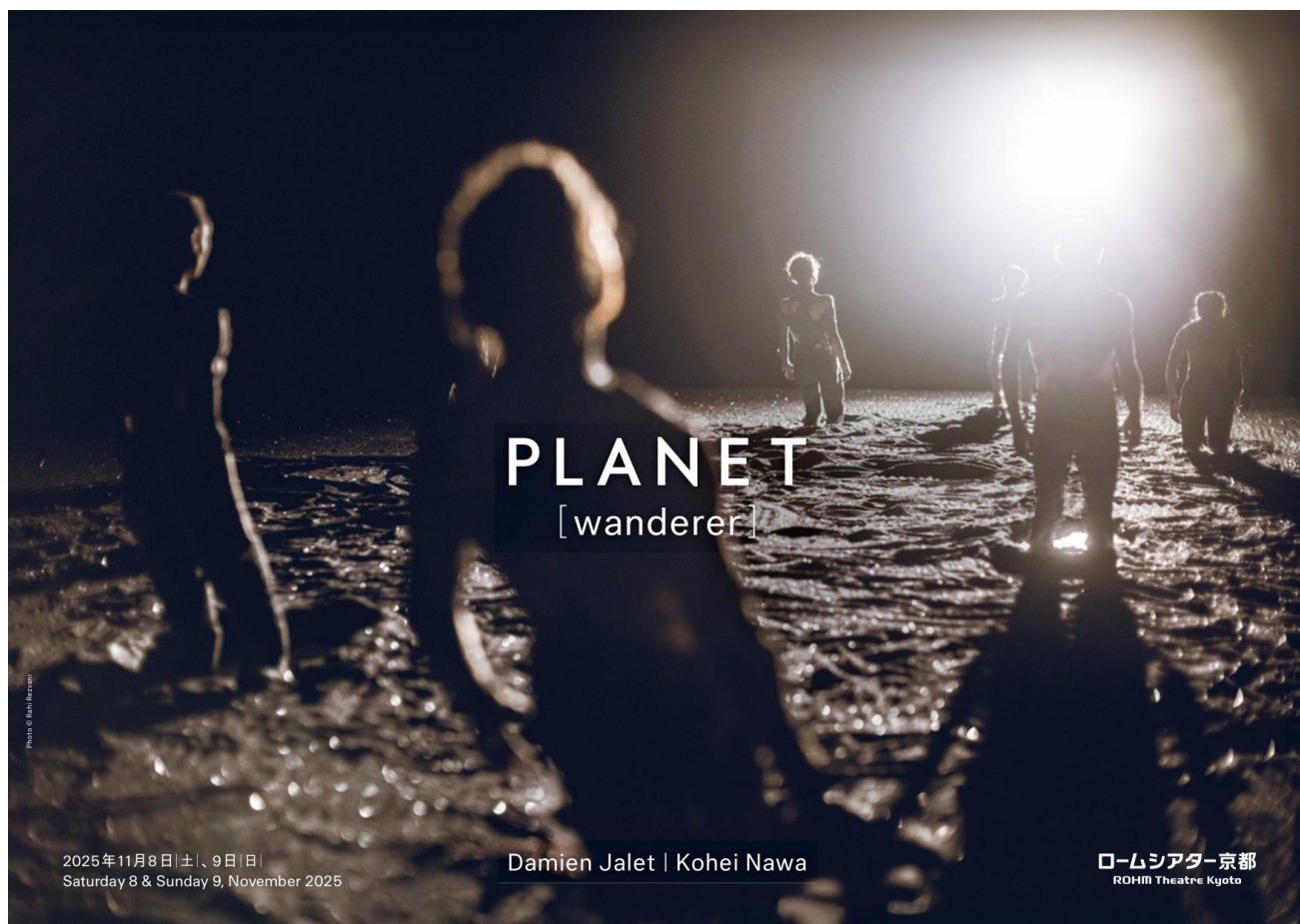


Photo: Rahi Rezvani

世界で脚光を浴びる振付家ダミアン・ジャレと
京都発の彫刻家名和晃平によるコラボレーション

ロームシアター京都〈10周年記念事業〉

ダミアン・ジャレ×名和晃平

『Planet[wanderer]』

2025年11月8日(土)～9日(日)

ロームシアター京都 サウスホール

8月27日(水)16:00-17:00 本公演の取材会を開催します。

(登壇:ダミアン・ジャレ、名和晃平 会場:ロームシアター京都 詳細はP.10 参照)

[本リリース発信元]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:山本、儀三武
電話:075-771-6051(10:00～17:00) FAX:075-746-3366
E-mail:press@rohmtheatrekkyoto.jp

■企画趣旨

『Planet[wanderer]』は、2016 年秋にロームシアター京都で世界初演を迎えた『VESSEL』*に続く作品です。『VESSEL』が日本最古の書物『古事記』の二つの世界、すなわち「黄泉の国(死者の世界)」と「高天原(神の住処)」を描いたのに対し、『Planet[wanderer]』は三つ目の世界である「葦原中国」— 私たちが生きる世界を舞台にしています。本作では、人間が葦のように、力と脆さ、調和と生存、破壊と進化の間で揺れ動く姿が表現されます。副題の「wanderer」は、「Planet(惑星)」の語源となるギリシャ語に含まれる「さまようもの」という意味とも呼応しています。生者と死者の境界線で、人間の身体と宇宙世界の構成要素や重力の不可分な関係を描き出す本作は、日本の彫刻家と欧州の振付家の共同作業ならではの、唯一無二の世界観を提示します。

*『VESSEL』: 2020 年ローレンス・オリヴィエ賞最優秀新作ダンスノミネート



©Rahi Rezvani

■本企画のポイント

2 人の鬼才アーティストによるコラボレーション作品

ダミアン・ジャレ×名和晃平による協働作品の記録

2016 年 『VESSEL』*日本 ロームシアター京都で初演

ローレンス・オリヴィエ賞 2020「最優秀新作ダンス作品」ノミネート

2021 年 『Planet[wanderer]』*フランス シャイヨー国立劇場で初演

2021 年 『Mist』*映像作品

2024 年 『Mirage [transitory]』*福岡 THEATER 010 で初演

2025 年 『Mirage』*スイス ジュネーブ大劇場バレエで初演

■アーティストコメント

ダミアン・ジャレ(コンセプト・振付)より

『Planet[wanderer]』をついに日本で上演できることに、大変感動し、高揚しています。日本は、名和晃平氏とともに構想を温め始めた場所であり、この複雑なプロジェクトの最初のリサーチ・ワークショップを京都と石巻で丹念に作り上げた場所でもあります。当初はもっと早い時期での上演を目指していましたが、新型コロナウイルスのパンデミックやその他の技術的な要因により、実現が叶いませんでした。

『Planet[wanderer]』はこれまで世界各地で上演されてきましたが、日本の観客の皆様は、この作品のコンセプトの背景と表現形式の両方に見られる、計り知れないほど多くの深く日本的な文化的要素をすぐに認識されることでしょう。この作品は日本でこそ、他の国では成し得ないほどの共感を得ると信じています。

例えば、古事記における「葦原中国」、京都の枯山水、雅楽が未来的なエレクトロ・アコースティックな層が対話するティム・ハッカー氏の音楽、8人のダンサーの一つ一つの動きに見られる儀式的な正確さとテンポ、吉本有輝子氏が作り上げた心を捉える陰影に富んだ照明デザイン、作品の中核をなすダンサーの湯浅永麻氏の力強いパフォーマンス、そしてその他にも数多くの要素が盛り込まれています。

これらの公演は、私が名和氏とのコラボレーションを始めて10周年という節目でもあります。名和氏は今や私にとって最も重要なコラボレーターの一人であり、彼からは本当に多くを学ぶことができました。11月に東京と京都でお会いできることを楽しみにしています！

名和晃平(コンセプト・舞台美術)より

ロームシアター京都は2016年秋に『VESSEL』を初演した劇場であり、その成功が、以後の継続的な舞台作品制作の契機となったといっても過言ではありません。いわば、10年以上にわたるジャレとのコラボレーションの原点にあたる記念すべき場所です。三部作のひとつである『Planet[wanderer]』もこの流れの中に位置づけられ、これは今年5月にスイス・ジュネーヴで初演を行った最新作《Mirage》へとつながる極めて重要な作品です。本来、2020年および2022年にロームシアター京都で上演予定でしたが、新型コロナウイルスの影響によって叶いませんでした。今回ようやく公演が実現することを、心から嬉しく思っています。

■舞台写真(すべてクレジットは© Rahi Rezvani)

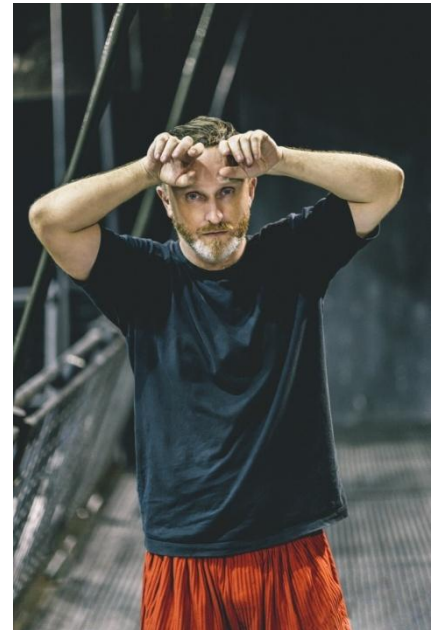




■アーティストプロフィール

ダミアン・ジャレ／Damien Jalet

振付家・ダンサー。ダンスをはじめ、視覚芸術、音楽、映画、舞台、ファッションなど、その活動は多岐にわたる。名和晃平との協働作品に、『VESSEL』(2016年)、映像作品『Mist』(2021年)、『Planet[wanderer]』(2021年初演)がある。近作では、2023年11月にアーティストのJR、作曲家トーマ・バンガルテルとのコラボレーションにより、パリ・オペラ座のファサード足場を舞台に、アマンディヌ・アルビツソンをはじめとする154人のダンサーが踊る『Chiroptera』を創作。2024年9月には、名和晃平と再びコラボレーションし、THEATER 010(福岡)で『Mirage [transitory]』を上演した。映画では、ルカ・グアダニーノ監督によるリメイク版『サスペリア』(2018年)、ポール・トーマス・アンダーソン監督『ANIMA』(2019年)にて振付を担当。2022年、フランス芸術文化勲章オフィシエ章を受章。



©Rahi Rezvani

名和晃平／Kohei Nawa

彫刻家。1975年大阪府生まれ。京都を拠点に活動。2003年京都市立芸術大学大学院美術研究科博士課程彫刻専攻修了。京都芸術大学教授。2011年東京都現代美術館で個展「名和晃平-シンセシス」開催。2017年、ポンピドゥー・センター・メッスで開催された「ジャパノラマ」展に参加。2018年7月から2019年2月にかけて、パリのルーヴル美術館ピラミッドにて、日仏合同プロジェクト「ジャポニスム 2018」公式企画のひとつとして、彫刻作品《Throne》が展示された。2023年、フランス・セヌ川のセガン島に高さ25mの屋外彫刻作品《Ether (Equality)》を恒久設置。平成23年度(2011年)京都市芸術新人賞受賞。



©Michael Somoroff

■公演情報

〈10周年記念事業〉

ダミアン・ジャレ×名和晃平『Planet[wanderer]』

日時: 2025 年 11 月 8 日(土) 19 時開演 / 11 月 9 日(日) 15 時開演★

※各回受付は開演1時間前、開場は開演 30 分前

★9 日託児あり。詳細・お申込みはロームシアター京都 WEB サイトにてご確認ください。

会場: ロームシアター京都 サウスホール

上演時間: 約 60 分

コンセプト・振付: ダミアン・ジャレ

コンセプト・舞台美術: 名和晃平

音楽: ティム・ヘッカー

照明: 吉本有輝子

衣装: スルリ・レヒト

サウンド・デザイン・コラボレーション: グザビエ・ジャコ

振付アシスタント: アレクサンドラ・ホアン・ジルベール

Outside Eye: カタリナ・ナヴァレテ・エルナンデス

出演:

ショーン・アハーン

エミリオス・アラポグル

カリマ・エル・アムラニ

フランチェスコ・フェラーリ

ヴィンソン・フレイリー

クリスティーナ・ギエブ

アストリッド・スウィーニー

湯浅永麻

再製作(2023 年): ブルターニュ国立劇場、国立演劇センター

製作(2021 年): パリ国立シャイヨー劇場

共同製作: ロームシアター京都、東京芸術劇場、パリ国立シャイヨー劇場(フランス)、シャルル
ロワ・ダンス(ベルギー)、Sandwich Inc. (日本)、ブルターニュ国立劇場(フランス)、
ザンクト・ペルテン祝祭劇場(オーストリア)、ルーアン・ノルマンディー・オペラ座(フランス)、
ハンブルグ・カンパナーゲル劇場(ドイツ)、ジュネーブ大劇場バレエ(スイス)、ナーゲルフス・
スキア・プロダクション(ノルウェイ)

特別協力: 株式会社グランマーブル、株式会社マツシマホールディングス

感謝: テオ・カシアーニ、プラープダー・ユン、ディディエ・デシャン、ファビエンヌ・オーカン
FEDORA ヴァン クリーフ & アーペル バレエ賞ノミネート(2020 年)

欧州連合(EU)クリエイティブ・ヨーロッパ・プログラムによる共同出資

協力: 京都芸術大学 Ultra_Sandwich#14 #15 #16 #17、京都大学 竹中研究室

主催: ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

共同招聘: 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

With the support of Dance Reflections by Van Cleef & Arpels

後援: 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランス

KYOTO EXPERIMENT 2025 提携プログラム

チケット情報(発売中)

料金(全席指定・税込)

一般 1 階席 7,000 円、一般 2 階席 6,000 円

ユース(25 歳以下)3,000 円、18 歳以下 1,000 円

会員特別価格:

一般 1 階席 6,300 円、一般 2 階席 5,400 円

※未就学児入場不可。中学生以上推奨。

※演出の都合上、開演後は場内にお入りいただけない時間があるほか、ご予約のお席にご案内できない場合がございます。

※18 歳以下およびユース(25 歳以下)チケットは、公演当日、受付にて年齢が確認出来る証明書(学生証、免許証)をご提示ください

※未就学児入場不可(11/9(日)は託児サービスがご利用いただけます。詳細・お申込みはロームシアター京都 WEB サイトにてご確認ください)

※車椅子席をご希望の方、介助者同伴の方はお問合せ先までご連絡ください。

チケット取扱:

- ・ロームシアター京都 オンラインチケット <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
- ・ロームシアター京都 チケットカウンター
- ・京都コンサートホールチケットカウンター
- ・e+(イープラス)

■関連企画

公開トーク

ダミアン・ジャレ×名和晃平『Planet[wanderer]』をめぐって

2016年にロームシアター京都で初演された『VESSEL』以来、長年にわたって共同作業を続けてきた振付家・ダンサーのダミアン・ジャレと彫刻家の名和晃平。国際的に注目される二人の鬼才による『VESSEL』に続く作品、『Planet[wanderer]』がいよいよ東京・京都で日本初演を迎えます。

異ジャンルのアーティストの共同作業から誕生した、唯一無二の世界観を持つ本作。今年11月の上演を前に、その魅力を語り合います。

登壇：ダミアン・ジャレ、名和晃平

司会：小崎哲哉(ジャーナリスト／アーツ・プロデューサー)

日時：2025年8月27日(水)19:00-20:30

会場：ロームシアター京都 パークプラザ 3F

対象：一般向け

料金：無料(事前申込優先)

主催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

共同主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

助成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

申込フォーム：<https://business.form-mailer.jp/fms/0b166328301160>

記者会見

ダミアン・ジャレ×名和晃平『Planet[wanderer]』取材会

上記の公開トークイベントに先立ち、メディア関係者を対象とした取材会を実施します。

日時：2025年8月27日(水)16:00-17:00

会場：ロームシアター京都 会議室 2ss

対象：新聞・雑誌・Webメディア関係者など

申込フォーム：<https://business.form-mailer.jp/fms/3dd3ab84301161>

ロームシアター京都 10周年記念事業 注目の海外ダンス公演

・ヴッパタール舞踊団 ピナ・バウシュ『Sweet Mambo』

11月21日(金)・22日(土)ロームシアター京都 メインホール

・クラウド・ゲイト・ダンスシアター(雲門舞集)『WAVES』

12月17日(水)ロームシアター京都 メインホール

■ダミアン・ジャレの日本国内での上演・活動記録

▶2008 年

東京国際芸術祭

『スリー・スペルズ -ジャレ+シェルカウイ+ジルベール+フェネスによる一夜-』

ソロ・デュオ 3 作品 特別上演:『毛皮のヴィーナス』『ヴェナリ』『アレコ』

公演日・会場 | 3 月 21 日(金)~3 月 23 日(日) にしすがも創造舎特設劇場

振付 | シディ・ラルビ・シェルカウイ、ダミアン・ジャレ、アレクサンドラ・ジルベール

音楽 | クリスチャン・フェネス

▶2014 年

『BABEL(words)』

公演日・会場 |

札幌公演: 8 月 22 日 さっぽろ芸術文化の館 ニトリ文化ホール

東京公演: 8 月 29 日~31 日 東急シアターオーブ

振付 | シディ・ラルビ・シェルカウイ、ダミアン・ジャレ

視覚デザイン | アントニー・ゴームリー

▶2016 年

『VESSEL』

公演日・会場 |

京都公演: 9 月 3 日

ロームシアター京都 *世界初演

岡山公演:

10 月 15 日 犬島精錬所美術館 敷地内

振付 | ダミアン・ジャレ

舞台美術 | 名和晃平

音楽 | 原 摩利彦



『VESSEL』 撮影: 井上嘉和

▶2017 年

『VESSEL yokohama』

公演日・会場 | 1 月 26 日～29 日 横浜赤レンガ倉庫 1 号館 3F ホール

振付 | ダミアン・ジャレ

舞台美術 | 名和晃平

音楽 | 原摩利彦(特別参加:坂本龍一)

▶2019 年

Reborn-Art Festival ダミアン・ジャレと中野公揮によるワークショップ

日時・会場 | 9 月 26 日(木)午後 ～ 29 日 宮城県石巻市 荻浜エリア周辺

振付 | ダミアン・ジャレ

キュレーター | 名和晃平

特別参加 | 中野公揮(ピアノ)

▶2024 年

NDT ジャパン・ツアー2024 プレイベント『Mist』上映会

日時・会場 |

愛知:1 月 28 日 愛知芸術文化センター アートスペースA(12 階)

群馬:2 月 24 日 高崎芸術劇場 スタジオシアター

振付 | ダミアン・ジャレ

舞台美術 | 名和晃平

映像監督 | ラヒ・レズヴァニ

舞台芸術祭「秋の隕石 2025 東京」 芸劇オータムセレクション

ダミアン・ジャレ×名和晃平『Planet[wanderer]』

東京公演:2025 年 11 月 1 日(土)～3 日(月・祝)東京芸術劇場 プレイハウス